



### 江差・いにしへの風景

江差町はヒバの北前交易にはじまり、江戸時代にはニシン漁が盛んになり「江差の五月は江戸にもない」とうたわれるほど栄えた町で、歴史的な建物や文化が色濃く残る町です。現在国道のある場所は昭和40年代まで海岸線で、ハネダシと呼ばれる船の荷下ろしが直接できる建物の部分が何件も連なって海に張り出す風景が広がっていました。



# 歴まち写真語り

四季のイベントといにしえ街道の風景

# 歴まちの四季



歴まち商店街のイメージキャラクター「夢作&お路っちゃん」

## 春



### ◇春のいにしえ夢開道

平成3年から継続している歴まちのお祭り。朝市の直売 TENT や職人による工芸品などが並び、ステージではコンサートを行います。歴まち商店街おかかえの「ちんどんや夢作宣伝社」が会場に賑わいを添えます。



No.1 卓月蔵 (旧石土蔵群)  
旧所有者から江差町が寄贈を受けた。土蔵4棟が連なり、1棟は今年カフェとして改装オープン。



No.2 江差塗工房  
かつてそば屋として使用されていた土蔵を工房ギャラリーに改装。柱・梁は拭き漆塗り仕上げ。



No.3 辻業店 辻業店倉庫 (店舗裏)  
天保5年創業の老舗の薬店。旧建物は店舗部分も土蔵で、解体した時の梁をベンチとして活用。

お店以外の土蔵



No.8 高橋土蔵



No.9 西川土蔵



No.10 平野土蔵



No.11 松山商事土蔵



No.12 鷗海土蔵



No.13 小田原土蔵



No.14 岩佐土蔵



No.4 海の写真蔵 (ばんやBecky併設)  
漆喰蔵が昔のまま残っており、状態の良い貴重な土蔵。ペーカリーと入り口が同じで見学もできる。



No.5 壱番蔵 (旧函館米穀倉庫・歴まち活動拠点)  
ホールを併設した活動拠点の土蔵。手作りケーキのお店Cafe & Sweets壱番蔵がカフェを営業。



No.6 カジ アールショップたじまや  
以前は建材で覆われていた土蔵を、改装時に解体し木材を組み直して復元。古い道具の展示もある。



No.7 そば蔵やまげん

倉庫として使用されていた土蔵を手打ちそばの店舗に改装。雰囲気良くくつろげる空間のお店。



案内人：歴まち商店街協同組合

## いにしえ街道の蔵探訪



# いにしえ街道の蔵探訪マップ

- 店やギャラリー等で活用されている蔵
- 倉庫利用等で一般公開していない蔵



※このマップで表示されている土蔵以外にも“内蔵”と呼ばれる民家や店舗の屋内から出入りする土蔵が複数残っている。



## ◇花嫁行列

イベント「春のいにしえ夢開道」のなかの催しの一つで、毎年1～2組のカップルを迎えて開催します。桜満開のいにしえ街道を練り歩く和服姿の華やかな行列は、春の道南の風物詩。主役はもちろん、観客も行列参加スタッフもみんなで幸せな気分になれるイベントです。

# 夏



◇夕焼けコンサート&ビアガーデン  
毎年8月に夕焼けをバックに開催するイベント。歴まち街区内の歴史ある寺院や文化財などの前庭を会場として、夕日に染まる壮大な建物をバックに雰囲気たっぷりの中で音楽が楽しめます。



## 歴まちグッズ



### ◇歴まちオリジナルグッズ

新年のイベントで販売する「干支マスコット」と夏に新作販売する「日本手ぬぐい」は毎年リピーターが心待ちにする人気商品。平成26年にはJR江差線廃線に伴う記念グッズのプリントシャツも作成しました。いずれも愛知県在住の画家、柄澤照文氏によるデザインです。



### ◇ニシンのぼり製作

青森県大間町でマグロのぼりを作成している「あおぞら組」メンバーのプロデュースにより、江差の五月が見事に表現されている色鮮やかで銀ウロコが輝く「ニシンのぼり」を作成しました。役場庁舎や町内の保育園や小学校などで飾られています。

# 百人の語り部



「百人が語るまち」をキーワードに、いにしえ街道沿道の店主や住民が自ら「語り部」となって、訪問客に得意なエピソードや歴史的な資源などを話しながら交流する取り組み。近隣市町村の中学生が研修に訪れます。



# 行灯の風景



親交の深い青森県五所川原市よりねぷた師を呼んで歴まちオリジナルのねぷた行灯の作成に取り組んでいます。完成した作品は、竹籠の灯り「たんころりん」などと一緒夕方から夜にかけて開催する色々なイベントで活用しています。



## ◇姥神大神宮渡御祭

歴まち商店街のほぼ中心に位置する姥神大神宮が毎年8月に行う370年の歴史を誇る北海道最古のお祭り。いにしえ街道の歴史的建物を背景に神社の行列と13台の山車が練り歩く風景は圧巻です。





◇年末年始「夢」サービス

12月31日の深夜から年明けにかけて、姥神大神宮への初詣に来る方々への休憩場所提供を兼ねて歴まち活動拠点の壺番蔵で開催する年越しイベント。参道を「たんころりん」と呼ばれる灯りで飾り、餅つきやお祝いの切り声・餅撒き等の催しものの他、オリジナルの干支マスコット販売を行っています。



◇北前のひな語り～歴まちのおひなさん  
2月～3月にかけて、いにしえ街道沿道をはじめ江差町内のお店や病院、金融機関、観光施設などあちらこちらにひな人形を展示して、冬の江差の風景に彩りを添えるひな祭りイベント。子供たちによるお茶会やお神楽披露、お琴演奏、スタンプラリーなども開催しています。

◇歴まち活動拠点ホール「壺番蔵」

歴まち商店街が江差町より指定管理を受けて運営する拠点施設。内部では手作りケーキのお店「Cafe&Sweets 壺番蔵」が喫茶店を営業しています。





◇海の写真蔵「海鷗」  
 ベーカリー「ぱんや Becky」に併設する故清水武男氏の作品と資料を収納している写真蔵。企画展示も行われます。



◇土蔵ガイドウォーク  
 土蔵の魅力を多くの方々に紹介するガイドイベントを実施しました。町民でも初めて見学する場所が多く、参加者の方々は江差の歴史に改めて感心しながら探索していました。

土蔵ガイドウォークで巡る土蔵



# 土蔵の活用



## ◇土蔵群「皐月蔵」

いにしえ街道沿いには、江戸時代末期から明治期に建造された土蔵が今も数多く残っています。近年、土蔵活用の動きが活発化し、土蔵を店舗の一部に利用したり、ギャラリーとして公開するなど一般の方々が見学できる場所が増えてきました。「皐月蔵」は新たな土蔵活用の拠点です。

